

1

2

3

令和7年度 第2回

常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議

令和7年 10 月 16 日(木)

於:議会棟2階大会議室



常総市 市長公室 常創戦略課

1. 基本目標 本文(案)について

<補足情報①>

■じょうそう未来創生プラン後期基本計画と総合戦略における基本目標の体系について

	総合戦略における基本目標				
	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	横断的目標
基本計画における施策の大綱	結婚・出産・子育ての希望をかなえる子どもまんなかまちづくり常総の実現	常総に新しいひとの流れをつくる	稼ぐ地域をつくるとともに安心して働けるようにする	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	持続可能な豊かな未来をつくる
I 市民参画の推進		○		○	
II 保健・医療・福祉の充実	○			○	
III 学校教育・生涯学習の推進	○				
IV 生活環境の充実				○	
V 都市基盤の充実				○	○
VI 産業振興		○	○		
VII 行財政運営の効率化			○	○	○

1 <補足情報②>

2 ■国の地方創生 2.0 基本構想の政策5本柱と総合戦略における基本目標の体系について

	総合戦略における基本目標				
	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	横断的目標
地方創生 2.0 政策5本柱	結婚・出産・子育ての希望をかなえる子どもまんなかまちづくり常総の実現	常総に新しいひとの流れをつくる	稼ぐ地域をつくるとともに安心して働けるようにする	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	持続可能な豊かな未来をつくる
安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生	○			○	
稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生		○	○		○
人や企業の地方分散		○			
新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用	○				○
広域リージョン連携					○

3

4

1 <補足情報③>

2 ■現行総合戦略と次期総合戦略の表記方法の変更について

3 【第2期総合戦略】

4 基本目標 1 稼ぐ地域をつくとともに、

5 安心して働けるようにする

6 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

(1) 踏すべき施策の基本的方向性

1-1 道の駅を核とした地域経済の活性化

1-2 農業先進都市の実現

1-3 雇用就業環境の充実

基本的方向性

指標	現状値	目標値
製造品出荷額	4,822 億円 (調査対象期間:2018 年)	5,384 億円 (調査対象期間:2023 年)
農産物産出額	95.9 億円 (調査対象期間:2018 年)	130 億円 (調査対象期間:2023 年)

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

1-1 道の駅を核とした地域経済の活性化

①道の駅による地域経済の推進

具体的な施策

施策内容

施策内容

具体的な事業

指標	現状値	目標値
道の駅における販売額	—	8.1 億円 (調査対象期間:2024 年)

②アグリサイエンスバレー構想における「働く場」の創出

施策内容

具体的な事業

14 【第3期総合戦略】

【基本目標1】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

「子どもまんなかまちづくり常総」の実現

(1)基本的方向性

子育て環境の充実

こどもの居場所づくりの推進

教育環境の充実

(2)数値目標

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

(3)具体的な施策と重要業績評価指標

1-1 子育て環境の充実

① 結婚・子どもの出産、育てやすい環境づくり

積極的に出会いの場を提供し、結婚支援から妊娠・出産に至るまで切れ目のないサポートを行います。産後ケアをはじめ、市内に開設された産婦人科や小児医療機関の充実を図り、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。さらに子育てアプリ、相談窓口の充実を通じて親子が集う仕組みを提供していきます。子育て支援拠点の整備や親子で楽しめるイベントの充実により、地域全体で子育て世代を応援し、子どもまんなかまちづくり常総の実現をめざします。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

基本的方向性

具体的な施策

【基本目標1】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

「子どもまんなかまちづくり常総」の実現

(1)基本的方向性

子育て環境の
充実

こどもの居場所
づくりの推進

教育環境の
充実

(2)数値目標

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

(3)具体的な施策と重要業績評価指標

1-1 子育て環境の充実

① 結婚・子どもの出産、育てやすい環境づくり

積極的に出会いの場を提供し、結婚支援から妊娠・出産に至るまで切れ目のないサポートを行います。産後ケアをはじめ、市内に開設された産婦人科や小児医療機関の充実を図り、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。さらに子育てアプリ、相談窓口の充実を通じて親子が集う仕組みを提供していきます。子育て支援拠点の整備や、その拠点を活かした親子で楽しめるイベントの充実により、地域全体で子育て世代を応援し、子どもまんなかまちづくり常総の実現をめざします。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

1-2 こどもの居場所づくりの推進

① 子育て支援の充実

「こどもの居場所づくり」として、保育士の確保、誰でも通園制度などに取り組み、保育環境の充実を図ります。また障がい児保育や病児保育、保育・教育の連携強化を進め、子育ての多様なニーズに対応します。児童クラブや児童館の運営を充実させることで、学校に通う生徒が放課後や休日に安心して過ごせる場所を提供します。

また、まちなかの市街地整備の一環として整備を進める複合施設「●●(名称決まり次第入替)」では隣接する市民の広場をまちなかりビングと位置づけ、一体的に運用することで、誰もが過ごしやすい市の新たな憩いの場が誕生します。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

1-3 教育環境の充実

① 常総市らしさあふれる教育環境の構築

未来を担う子どもたちが郷土愛を育みながら世界に羽ばたくための教育環境をさらに充実させていきます。ICTの活用により、タブレットやAIドリルを使った先進的な学びを提供し、生成AIを活用した教材で個別指導の充実を図ります。また、学校外においても市が推進するAIまちづくりを実現するための取り組みの一つとして、次代を担う子どもたちにオリジナルのAI学習の機会を提供するなど独自の取り組みにより、AI・理系人材の育成を図っています。

また年齢に関係なく学び直しの機会として夜間中学の充実を進め、全ての市民に学び続ける場を提供します。さらに、小中学校の障がい児教育の充実等、誰もが学びやすい環境を整えます。今後は、英語教育の更なる充実を目指し、国際社会に対応できる力を育むためのカリキュラムを拡充し、グローバルな人材を育成します。そして、奨学金制度の充実により、経済的な支援を必要とする学生をしっかりとサポートし、地域の未来を切り開く若者たちを応援します。常総市の教育は、個々の才能を伸ばし誰もが自分らしく成長できる場となることを目指します。

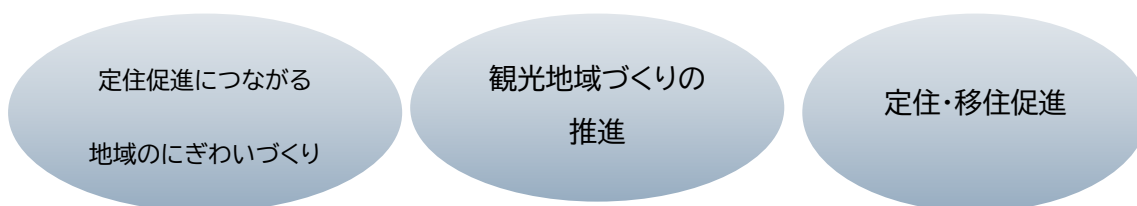
■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

【基本目標2】

常総に新しいひとの流れをつくる

(1)基本的方向性



(2)数値目標

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

(3)具体的な施策と重要業績評価指標

2-1 定住促進につながる地域のにぎわいづくり

① 市街地のにぎわいづくり

市街地の整備や多世代が集う魅力的な空間をつくることで、地域のにぎわいを創出します。
またハード整備のみならず、商工会や金融機関とも連携を図りながら創業支援体制の強化、空き店舗の有効活用に向けた支援など、まちに新たな活力をもたらす取り組みを推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

② アグリサイエンスバレー常総を核としたにぎわい創出

アグリサイエンスバレー常総の集客力やブランド力を活かし、多くの分野で市域全体に波及する取り組みを推進します。観光面では、積極的な情報発信や周遊する仕組みづくりの推進によってにぎわいを創出します。また農業分野では、アグリサイエンスバレー事業と地域農業者との連携を強化し、6次産業化を進めることで地域農産物の魅力を高め、消費者ニーズを喚起し、にぎわいづくりに繋がります。そのほかにも、アグリサイエンスバレー常総内における公園整備や民間集客施設の誘致などをつうじて更なる活性化を推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

9

2-2 観光地域づくりの推進

① 地域資源の最大限の活用

地域資源を最大限に活かし、歴史的文化財や自然環境など、地域の特色を融合させた観光地域づくりを推進し、市民や訪れる人々が地域の魅力を体感できる環境を整備します。引き続き、かわまちづくりの推進やあすなろの里、吉野公園など利活用による自然環境面から、国指定重要文化財坂野家住宅に代表される文化施設や文化財・史跡の活用を推進します。また花火大会をはじめとする各種イベントの磨き上げを行い、それらをデジタルの力も使い連携させながらプロモーションを展開します。観光面におけるブランド力を高め、訴求力の向上につなげ更なる交流人口の拡大につなげます。

19

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

21

22

② 都市間交流拡大による新たな人の流れの創出

防災面での交流や千姫様及び大河ドラマ誘致をきっかけとする自治体間交流を飛躍させるため、文化やスポーツを中心とした更なる市民交流を推進します。相互誘客などにより関係人口拡大につなげるほか、地域を見つめなおすきっかけとなることで地域資源の磨き上げにもつなげていきます。国内外幅広く都市間交流を推進し、新たな人の流れの創出につなげます。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

2-3 定住・移住促進

① 定住・移住促進施策の充実

定住・移住に特化した戦略を新たに策定し、施策の推進体制を一層強化します。これまでの課題である近隣自治体への人口流出を抑えるため、定住者向けの施策を推進するとともに、移住者向けにはＵターンやＪターンの促進を図りつつ、市の強みを活かしこれまでとは異なる新たなターゲットにも対応できるよう情報提供の機会を拡充します。具体的な取り組みとして、定住意向を高めるため若年層からシビックプライド醸成に繋がる取り組みを積極的に推進し、各年代に沿った取り組みを検討してまいります。また移住相談窓口の充実やシティプロモーションの強化を通じて、常総市の魅力を広く発信していきます。さらに、お試し居住の実施により、移住前に実際に生活を体験できる機会を提供し、移住者がスムーズに地域に馴染めるよう支援します。また移住に必要な住まいの確保を支援するため、空家バンクや市営住宅の積極的な活用を進め、特に子育て世代には専用住宅の整備や助成を通じて安心できる住環境の提供を目指します。こうした施策を通じて、人口流出を抑えつつより多くの移住希望者を迎え入れる体制を整えていきます。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

【基本目標3】

稼ぐ地域をつくとともに安心して働けるようにする

(1) 基本的方向性

企業誘致
の推進

農業先進都市の
実現

安心して働ける
環境づくりの推進

(2) 数値目標

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標

3-1 企業誘致の推進

① 産業用地の創出

常総市の強みである首都圏に近接した立地特性により産業系土地利用の需要が拡大しており、新たな産業拠点の整備が急務となっています。市の財政負担を軽減し、企業の立地ニーズを逃さないために、民間主導による事業化と早期参入を促進し、民間の活力を最大限に活かした産業団地の整備を推進します。

また、雇用の拡大や地域経済の活性化を目指し、官民連携による産業用地の創出を進めるとともに、都市計画の策定を通じて事業環境の整備を図っていきます。さらに、圏央道スマートインターチェンジの新設や主要幹線道路の交通円滑化に向けた取り組みを推進し、地域の産業基盤の強化に努めます。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

1 ② 公民連携の充実

2 行政だけでなく、民間企業との連携を強化し、PPP・PFI 事業の推進や民間提案制度、サウ
3 ンディング型市場調査などを積極的に実施していきます。また、本田技術研究所との協定に基
4 づく「AI まちづくり」に取り組み、現役エンジニアによるロボットプログラミング講座や AI 体
5 験プログラムを提供していきます。さらに地域の活性化に向けて民間企業等が主体となって
6 AI を用いた地域課題解決プロジェクトに対する支援や自動運転技術の実証実験を通じて、未
7 来志向の都市づくりを進めていきます。

8 ■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

9

10 **3-2 農業先進都市の実現**

11 ① 農業経営の強化

12 効率的な農業経営や生産性や付加価値向上の実施を図るため、スマート農業をはじめとす
13 る環境制御技術の高度化、AIの活用により省力化や収量・品質の向上を目的に機器導入の推
14 進を行います。またアグリサイエンスバレー常総を拠点とし、地域内での生産・加工・流通・販売
15 の仕組みづくりの場と 6 次産業化を推進し、運営組織の組成や施設整備を推進します。さらに
16 農産物のブランド化や GAP 認証経営体の育成に力を入れ、輸出作物の品目拡充を目指しま
17 す。農業の担い手不足という課題に対しても認定農業者や新規就農者の支援を行い、スマート
18 農業、農福連携を推進して農業経営の強化を図ります。

19 ■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

20

21

② 農業基盤の整備

農地中間管理事業¹を活用し、農地の集積・集約に向けた取り組みを加速させ、担い手農家の経営規模拡大により経営安定を支援するとともに、民間企業の誘致なども積極的に進め、農地基盤を整備します。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

3-3 安心して働ける環境づくりの推進

① 雇用就労環境の充実

合同企業説明会や企業バスツアー、合同入社式など多様な就労支援を展開することで働きやすい環境づくりを促進します。雇用促進奨励金などの制度やハローワークとの連携強化により安定した雇用の実現を目指します。さらに市内における起業や創業を後押しするため、市独自の支援制度や創業セミナーを設け、商工会や金融機関と連携し、地域の活力を高め、定住・移住の促進にもつなげていきます。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

¹ 農地中間管理事業

農業の担い手への農地集積・集約化を推進するため、茨城県農地中間管理機構が、農地の貸し手（農業を辞める人など）から農地を借り受け、意欲のある借り手（担い手）へ貸し付ける事業

【基本目標4】

ひとが集う、安心して暮らすことができる

魅力的な地域をつくる

(1) 施策の基本的方向性

防災先進都市の
実現

安全・快適な
生活環境づくり

多様な人材が活躍
できるまちの実現

(2) 数値目標

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標

4-1 防災先進都市の実現

① 多様な災害への対応の強化

震災や関東・東北豪雨水害から学んだ教訓を活かし、市民のだれもが安全・安心に暮らせるよう様々な取り組みを展開し、災害につよいまちづくりを進めていきます。防災ラジオや SNS など情報伝達手段の多様化を進めるとともに、必要に応じた個別避難計画の作成や、避難所における間仕切りテントなどの充実など生活環境の改善を目指します。地域の防災基盤を強化するため、自主防災組織の結成促進や防災士、消防団員の育成に取り組みます。さらに官民連携で減災力を高め、新たな防災拠点(防災ステーション)の整備を検討します。市独自の取り組みとして防災教室や防災キャンプなどを通じて防災教育を推進し、「防災先進都市の実現」を引き続き推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

② 気候変動に適応する流域治水の推進

地球温暖化により頻発している洪水被害等に対応するため、田んぼダムの促進やハザードマップの作成により流域治水を推進し、安全安心な地域づくりを目指します。また、台風の接近によって河川の水位が上昇するときの1人1人の防災行動計画であるマイ・タイムラインの普及を促進します。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

4-2 安全・快適な生活環境づくり

① 地域コミュニティの維持・強化

人口減少や地域の連帯感の希薄化に伴い、自治体を始めとする市民活動団体等の高齢化や担い手不足が進み、課題となっています。地域の絆日本一を掲げ、地域の住民が主体となって地域のありたい姿を話し合いながら、地域の活性化や地域課題を解決するため、市民活動団体及び事業者などが連携し、広域で活力のある「まちづくり協議会」の設立・運営に向けた支援を推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

1 ② 多様な施策を組み合わせた生活環境づくり

2 持続可能で安心・安全なまちづくりを実現するため、コンパクトシティの推進や公共交通ネッ
3 トワークの形成を図るとともに、公共インフラの適切な管理・更新、住宅の耐震化促進、PPP・
4 PFI の活用、公共施設マネジメントの推進など効率的かつ持続可能な都市経営を進めます。ま
5 たスポーツ振興施設の環境整備や活用により市民の健康増進に向けた支援を推進、文化面で
6 は図書館サービスの充実をつうじて、市民の学びや交流の機会を拡げます。さらに医療体制の
7 強化や高齢者の生活支援、防犯対策の推進など多様な施策を組み合わせた「なんかいいかも」
8 があふれる暮らしを実現する生活環境づくりを推進します。

9 ■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

10

11 **3 多様な人材が活躍できるまちの実現**

12 ① ダイバーシティ&インクルージョンの推進

13 性別や年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景などあらゆる違いも尊重し、多様な人材がそれ
14 ぞれの力を発揮できる社会の実現を目指します。
15 男女共同参画の推進により、家庭・職場・地域における男女の平等な参画機会を確保すると
16 もに、誰もが自分らしく活躍できる環境を整備します。

17 また約50もの国や地域の方が暮らす本市においては多文化共生の推進を通じてだれもが
18 地域社会の一員として活躍できる体制を整えるとともに、人々の交流や協働を促進します。さ
19 らにすべての人々が安心して暮らせるインクルーシブな地域社会の実現を目指し、教育・福祉・
20 雇用等の分野において機会の確保や環境整備を進めます。

21 ■重要業績評価指標(KPI)

指標	現状値	目標値
未設定	未設定	未設定

22

【横断的目標】

持続可能な豊かな未来をつくる

(1)施策の基本的方向性



(2)具体的な施策と重要業績評価指標

横断的目標 1-1 多様化・高度化する行政課題への対応

① 広域及び産官学連携の推進

人口減少や少子高齢化, 地域経済の変容, 気候変動対策など, 多様化・高度化する行政課題へ対応するため, 広域的な視点と多様な主体との協働を重視します。近隣自治体と連携し, 広域的な課題解決やサービスの相互補完を図るとともに, 大学・研究機関等の教育機関との連携により, 専門的知見や人材育成の力をまちづくりに活かします。また民間企業との協働を通じて, 先進的な技術やノウハウを地域課題の解決に取り入れます。産官学の連携も強化し, 広域的なネットワークを活かした課題解決の取り組みを推進することで, 持続可能で活力ある地域社会の実現を目指します。

横断的目標 1-2 DX・GX の推進

① デジタルによる利便性の向上

デジタル技術を積極的に活用し, 住民サービスの利便性向上につなげます。行政においては RPA や AI 技術の積極的な活用を推進します。様々な場面における業務の効率化を推し進め, 付加価値の高い業務に注力できる体制を構築し, 行政サービスの質向上を目指します。地域においてはデジタル技術の導入や AI まちづくりの推進によって産業振興や観光資源の発信, 教育・福祉分野で, 地域経済の活性化と住民生活の質の向上を図ります。

1 ② 地域脱炭素実現に向けた取り組みの推進

2 2050 年のカーボンニュートラルの実現に向け, 公共施設やインフラの省エネルギー化や再
3 エネ導入を進めるとともに, 家庭や事業所における省エネ・再エネ活用を支援します。また脱炭
4 素に向けた啓発や教育活動をつうじて持続可能で脱炭素型の地域社会の実現を図ります。

5

2.指標のあり方検討

1. 総合戦略における指標の扱いについて

① 数値目標

政策分野ごとに設定。行政活動そのものの結果(アウトプット)ではなく, その結果として住民にもたらされた便益(アウトカム)に関する数値目標の設定が望ましいとされる。

② 重要業績評価指標(KPI)

政策分野の下に盛り込む具体的な施策に対する効果を客観的に検証し, 対外的な説明が可能な指標。原則アウトカムが望ましいとされるが, アウトカム指標の設定が困難な場合にはアウトプット指標も可。

2. 市民目線による行政の取り組みに対する評価について

現在, 第3期総合戦略の指標の検討を始めたところですが, 第2回の当会議では今後の指標作成のヒントをいただきたく, 下記の視点から皆様のご意見を伺いたいと考えています。
(会議内で検討する時間を設ける予定です)

- 行政が検討する目標(指標)が, 市民目線で評価をする際の基準とずれていないか
- 市民はどのような観点から行政の仕事を評価しているか
- 市民にとって行政(市役所)のあるべき姿とは 等

1 **3.今後の予定**

2 (1) **【総合戦略会議】**

3 第3回(11月20日):本文の検討, 指標の検討

4 第4回(2月6日):パブリックコメントにおける意見について, 及び全体に渡る確認

5

6	令和7年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
創生本部 (庁内)		5/2 第1回		7/2 第2回		9/12 第3回	10/31 第4回				2/2 第5回	2月中旬 第6回
部会 (庁内)		素案作成		事業施策検討								
10			6/26 第1回				10/24 第2回		報告			
総合戦略会議 (外部組織)				7/22 第1回			10/16 第2回	11/20 第3回			2/6 第4回	
パブコメ ・議会									中間 報告	パブコメ		全協 報告
14												

16 **4. その他**

19 **■ご案内**

20 次回の まち・ひと・しごと創生総合戦略会議は、

21 **令和7年11月20日(木) 13:00～**に開催する予定です。

22 お手数ですが, スケジュールの調整につきまして, よろしくお願い申し上げます。

23 常創戦略課 未来創生係 松永・栗野

24 電 話:0297-23-2111(内線 3904)

25 メール:mirai@city.joso.lg.jp